

みなしご通信



第1回 芦別拠点TNR 順調に

北海道・芦別TNR一斉は2013年8月に野花南でやっていたので2回目なのですが、犬猫みなしご救援隊芦別拠点として行うのは今回が初めてだから気分的には記念すべき芦別拠点TNR第1回です♪



9月8日、芦別に着いてすぐ芦別市役所に《ごあいさつ》に行きました。私がお話をしに行きました。この瞬間まで芦別市では《猫の餌やり禁止》を前面に出していましたが《猫の餌やり禁止》という文言は行政が使ってはならん事だと《大演説》したところ、別室で詳しく聞きたいと言う事でさらに別室で《大演説》。すると

芦別市は私が言わんとする点に対してすんなり理解を示し、今後芦別市としては《犬や猫を飼うなら責任を持つて終生飼養をすること》《野良猫に餌を与えるなら不妊手術を施し餌やりマナーを守ること》を啓発してくれることになりました。野花南の時も思ったけど芦別の人は素直で柔軟な人が多いです。始まりました。第1回・芦別拠点TNR。今回医療スタッフとして遠き芦別まで来てくれたのは千葉先生



と桂代ちゃん。持つべきものは善き友かな：かわいいでしょ！見るからにオジサン猫ばかりで、多頭現場だけど、この現場の猫たちは環境その他が

いいからみんな丸々して元気です。初日は45匹手術をして15時から猫探索に出かけ猫の居場所リサーチをしました。芦別TNR一斉はこれから始まるわけだから次回のためにもリサーチは必要ですしね♪
夜：千葉先生と桂代ちゃんと4人で捕獲器を仕掛けに行ったりしました。ここ何年も私は猫を捕獲器で捕まえる事をしていないので



久しぶりにハイテンションでした。芦別TNR一斉2日目はボランティアさんが捕まえられるという猫を多頭飼養現場に捕まえに行きました。室内で猫を捕まえるのは日常的にやっています得意分野ではありますが多頭飼養現場特有の激しいニオイにやられいつも通りツラかったです。こんな身なり

をしている私が言うのもなんですが私、汚いとこは苦手ですね。文章からはニオイが出ないから正確な事が伝えられないですが10分もいたら着ているものも臭くなり全身に虫がハツている

ような気分になり痒くて痒くてガマンできなくなります。隅はウン〇が堆積：こんなところで猫が暮らしていたのかと思うとかわいそうでフビンでなりません。ここにいた20数匹の猫たちは術後はこの家には戻らず市議さんが用意してくれたプレハブ小屋で暮らすんだそうです。良かった。記念すべき第1回・芦別拠点TNR一斉は無事に終わりました。次回は11月頭を予定しています。

ケージレスト

8月29日から3日間、岡山県の方々にお世話になりました。まずは倉敷市児島図書館で毎年恒例の講演会。児島図書館は倉敷【市立】ですから新型コロナ対策も厳しく人数制限と時間制限と参加者居住地制限がありました。いつもなら40席どなたでも参加可で4時間の講演時間を大幅にハミ出る感じでしたが今年岡山在住の方で1回の講演で6

平成30年7月豪雨を忘れない。
その時、あなたは誰と一緒にいますか？
～災害時は、必ずペットと一緒に避難する～

特定非営利活動法人 講師
犬猫みなしご救援隊 **中谷百里氏**

席、講演時間は1時間。
今年のテーマは災害時に備えてどうするべきか：また実際に災害が起きて避難せねばならなくなった時、飼い主としてどうするべきか《その時あなたは誰といえますか？》当たり前の事ができなくなる災害時の混乱を想像したらこの言葉は重い問いかけですね《その時あなたは誰といますか？》
災害が起きて避難せねばならなくなったらかく【あと先は考えず】飼い犬・飼い猫など伴侶動物を連れて【一緒に避難する】避難先で迷惑をかけるかも：そんな配慮は災害時に限り要りません。いつの世でもい

かなる時でも《命を守る事》これ以外の選択肢はないのですから。
と言っても堂々と迷惑をかけるわけにはいかないので避難先で迷惑をかけないために常日頃からケージで良い子ができるようにケージレストの練習をしておきましょう！猫は入れ物に入る事は好きだから常日頃から室内にケージ・キャリーを置いておくだけでそれが怖いものではない事を自分で学習してくれませんが、犬の場合はケージレストの練習を行ってください。おやつをケージ内に置いておやつで釣つてケージに入れるのではなく、無理やりでもケージに入れて鍵をかけてから《ご褒美おやつ》を与え「お利口さん偉いね賢いね可愛いね」ありとあらゆる褒め言葉を満面の笑みでかけまくってください。そうする事で犬たちは「ケージに入ると褒められおまけに美味しいおやつももらえる」と学習していきます。
とにかく飼い主はケージ

とにかくTNR

やキャリーに対して伴侶動物たちに嫌なイメージを植え付けたい事！これを念頭にケージレストの練習をしてください。
今後の予定を確認すると決まっているのはほとんどTNR一斉ですが、それぐらい地方でのTNR一斉の需要は大きく、地方のボランティアさんたちはみんな【殺すことより増やさないこと】をスローガンに、殺処分ゼロに向かって頑張っておられるのです。
実際、十数年前までは私もそくでしたもんね。一度にまとめて何十匹もTNRしたい：まとめてTNRすれば絶対に成果が表れる：けどそれをするにはクリアしなければならぬ問題が山積み。ハードルは高く、当時の私のチカラではコツコツやるしかない残念な状況でした。
それが2011年の東日本大震災の救援活動中にちばわん代表の桂代ちゃんと

出会い、山口獣医科病院の山口先生を紹介してもらい、3人で『全国でTNR一斉がしたいね』って話で盛り上がり、私はすぐさま大量の荷物と共に移動できるように大型バスを購入しました。広島本部と栃木拠点にTNR専門の診療所を設け、福島被災動物の救援活動が終わってから半年後には山口獣医科病院の勤務医たちと出張型TNR一斉を開始。その1年後には山口獣医科病院卒業のたくさんの開業医たちとローテーションが組めるようになり、そくくしてたら千葉先生が専属で一緒にまわってくれるようになり、ますますいろんな町で多くの猫たちのTNRのお手伝いができるようになりました。
言っておきますけど私たちのTNR一斉は《無料》ではありません《無責任な餌やりを増やさないために》こは曲げられないとこです。

本紙は中谷百里代表ブログ「みなしご庵へようこそ」の記事を抜粋したものです。

NPO法人（特定非営利活動法人）
犬猫みなしご救援隊
www.minashigo.jp

犬猫みなしご救援隊
〒731-0234
広島県広島市安佐北区可部町大字今井田690-2
TEL : 082-812-3745 FAX : 082-815-2711

みなしご通信のバックナンバーは、公式ページ
(http://www.minashigo.jp/newpaper/index.html)に掲載しております。

スマホをかざすだけで募金ができる
かざして募金
JAPANGIVING

ソフトバンクの「かざして募金」、ジャパングビングで寄付ができます。
(https://japangiving.jp/supports/1281) 皆さまからのご支援、よろしくお願いたします。